

機械器具 (48) 注射筒  
一般医療機器 血管造影用注射筒 15286000  
**トップ アンギオシリンジ**

再使用禁止

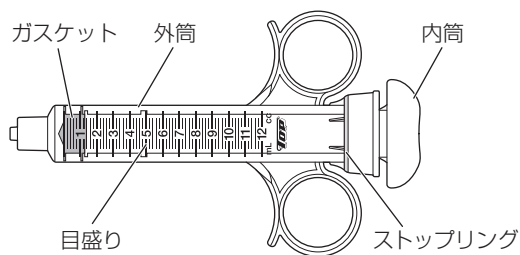
**【禁忌・禁止】**

- ・再使用禁止
- ・本品の耐圧性能を確認して使用すること。耐圧性能を上回る条件で使用しないこと。[破損のおそれがある。]

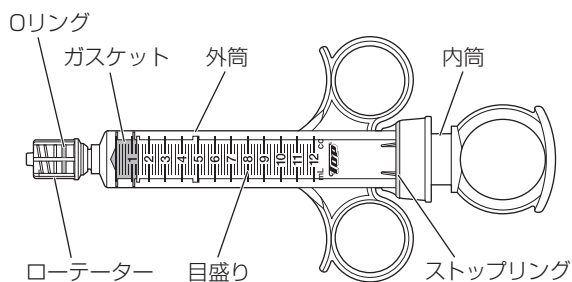
**【形状・構造及び原理等】**

＜構造図(代表図)＞

パームパッドタイプ(固定ロックタイプ)



リングタイプ(ローテータータイプ)



\* (材質)

外筒	ポリカーボネート
内筒	ABS
ガスケット	シリコーンゴム
ストッパー	ポリカーボネート
ストップリング	POM
ローテーター	ポリカーボネート
Oリング	シリコーンゴム

サイズ	12mL
内筒の種類	パームパッドタイプ, リングタイプ
先端の種類	固定ロックタイプ, 回転ロックタイプ
耐圧性能	1.45MPa (210Psi)

(仕様)

- ・JIS T 3210(滅菌済み注射筒)を準拠する。

**【使用目的又は効果】**

- ・本品は、造影検査にて用いられる造影剤注入器である。

**【使用方法等】**

1. 包装側面の開封口より開封し、汚染に十分注意しながら包装内より取り出す。
2. 内筒を先端まで押した後に、内筒を引いて必要量の造影剤をシリンジ内に導く。
3. シリンジ内のエア抜きを行った後に、すでに留置してある造影用ラインのメステーパー部にシリンジのオスロックテーパーをしっかりと接続する。
4. 内筒を押して造影剤を注入する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・本品にて急速に吸引すると、回路内が陰圧となり、液中の気泡が大きく見える場合がある。
- ・本品には、エア注入防止用のストッパー(約0.5mL)としてストップリングが設けてある。
- ・本品には、内筒を最大目盛以上に引けない様、ストップリングが設けてある。
- ・薬液を最大目盛まで吸引後、シリンジ先端部を押し付けながら内筒を傾けるようにして薬液を注入しないこと。[シリンジ内面とガスケットとの間に微小な隙間が生じて薬液が漏れるおそれがある。]

**【使用上の注意】**

＜重要な基本的注意＞

- ・使用前、各接続部がしっかり接続されていることを確認すること。また、使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れについて、定期的の確認すること。
- ・本品の接続に際して、過度の締め付け及び増し締め等には十分注意すること。[接続部が破損するおそれがある。]
- ・接続部に薬剤等が付着した状態での締め付け及び増し締め等には十分注意すること。[接続部が通常より深く入り込み、破損するおそれがある。]
- ・接続部に薬液が付着すると、接続部に緩み等が生じる場合があるので注意すること。

\*\* <不具合・有害事象>

1) その他の不具合

- ・汚染(個包装の破損等)
- ・破損(耐圧性能以上の使用)
- ・接合部の漏れ(接合部のキズ等)
- ・接合部の外れ(接合面への潤滑性の薬剤付着等)

2) その他の有害事象

- ・感染

**【保管方法及び有効期間等】**

**<保管方法>**

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

**<有効期間>**

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）  
TEL 03-3882-3101

\*  
5  
1  
0  
0  
-  
8  
\*

